

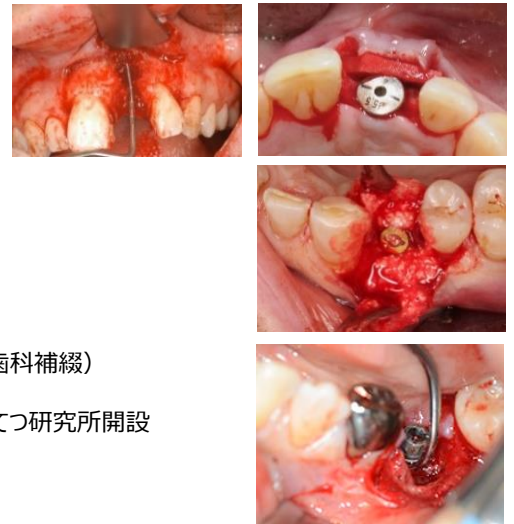
## インプラント周囲炎への対応（メンテナンス＆リハビリ）名古屋

インプラント治療が欠損補綴における中心的な選択肢となった今日では、既に500万本以上のインプラントが植立されていると言われていますが、予後不良によるトラブルケースも年々増加傾向にあるのが現状であり、インプラント治療後のメンテナンス＆リハビリに対する知識の習得がますます重要なテーマとなってまいりました。

本講演会では、長期安定に欠かせないメンテナンス法を中心にインプラント周囲炎への対応方法（裏面参照・MOTコンセプト）や、インプラントが撤去に至った場合の対応などについて解説いたします。また、不意に訪れるトラブルに対する安全・確実な処置法についても解説いたします。

### トピックス

- インプラント周囲病変の診査・診断
- インプラント周囲粘膜炎＆インプラント周囲炎への対応
- フィクスチャー＆上部構造へのメンテナンスアプローチ



### スピーカー



中居 伸行 先生

1992年 広島大学歯学部卒業  
 1998年 英・ダンディー大学客員講師（老年歯科補綴）  
 英国歯科医師会 登録医  
 2008年 なかい歯科開業 義歯インプラントほてつ研究所開設  
 2009年 日本補綴歯科学会専門医・指導医  
 同学会 認定研修期間  
 2010年 EAO認定医  
 2014年 長崎大学歯学部 臨床教授（歯科補綴学）  
 日本口腔顔面痛学会 指導医

sweden & martina

starchip

bone & tissue  
regeneration

botiss  
biomaterials

### 日時

2017年5月18日（木） 18：00～21：00

### 会場

安保ホール 名古屋市中村区名駅3-15-9 601号室  
 TEL:052-561-9831

### 参加費

6,000円（税込み） ※対象・・・歯科医師、歯科衛生士



大信貿易株式会社  
 DAISHIN TRADING CO.,LTD.

本社／〒592-8346 大阪府堺市西区浜寺公園町3-231-3

<http://www.daishintrading.co.jp>

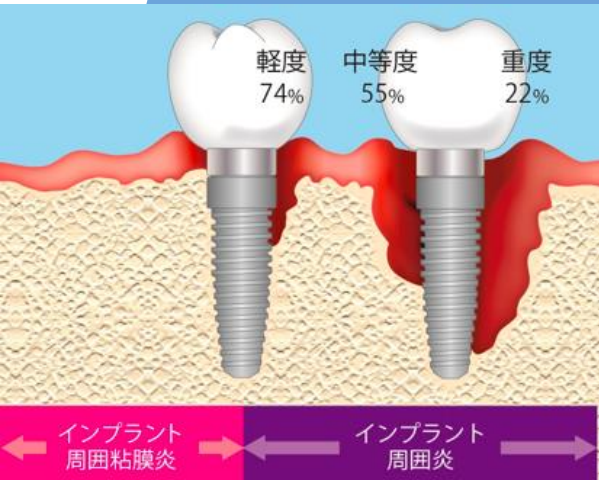
大信受注センター

tel.0120-382-118 fax.0120-089-118

お申込日： 年 月 日

|                                     |  |                                  |  |
|-------------------------------------|--|----------------------------------|--|
| セミナー名：インプラント周囲炎への対応（メンテナンス＆リハビリ）名古屋 |  | セミナー開催日：2017年5月18日（木）18：00～21：00 |  |
| ご氏名                                 |  | ローマ字名                            |  |
| 施設名                                 |  |                                  |  |
| 〒<br>ご住所                            |  |                                  |  |
| TEL                                 |  | FAX                              |  |
| E-mail                              |  | @                                |  |

※上記の申込書にご記入の上、大信貿易株式会社までFAXにてお申し込みください。※お振込み先は追ってご連絡させていただきます。  
 ※ご入金を持って正式なお申込みとさせていただきます。※振込受領票をもって領収書に代えさせていただきます。



# インプラント周囲炎への対応 Maintenance-oriented therapy MOTコンセプトの提案

現在、欠損補綴に対するインプラント治療は高い予知性を有する治療法として我々の日常臨床において重要なオプションの一つとなっている。しかし、残念ながらその中で生物学的偶発症、すなわちインプラント周囲病変に罹患するケースは決して稀ではないとの報告が、特に開業医ベースでの疫学研究(Practice-based research)で強調されている。

中でも、インプラント周囲炎の定義、罹患率あるいはインプラント喪失との関わりの程度に関しては未だ議論があるところだが、いわゆるインプラントの後期失敗(late failure)に大きく関与する病態であることは確かそうである。

したがって、今後はインプラントを埋入することだけでなく、それを維持する知識と技術、さらにはそれらを支えるコンセプトが大変重要と考えている。演者は、3年ほど前よりこの考え方をMaintenance-oriented therapy(MOT)コンセプトと命名して、商業誌上等で提案してきた。

本講演では、MOTコンセプトに基づくインプラント治療のプランニングから補綴的側面、メインテナンスについて語るとともに、実際の治療例についても最新の科学的根拠に基づいた考察とともにお話したい。

